

タブレット端末活用動画集  
「+タブレ」

基本操作

「電源の ON, OFF」

「デジタルテレビとの接続」



カメラアプリで

撮って

提示装置で

映して

書き込みアプリで

書き込む

# はじめに

## 準備物



コンピュータ、デジタルテレビまたは、プロジェクタ  
HDMIケーブル、接続アダプタ  
タブレット端末（説明用、受講者用）



今日の校内研修では、本校に整備されているタブレット端末について研修していきます。

## Step1 電源



まずは、基本となる電源のオンとオフについて研修します。  
動画を見ましょう。



### — 動画の視聴 —



では、タブレット端末の電源を入れてみましょう。  
電源が入るのには、少し時間がかかるものもあります。  
電源が入るまで、画面を注意して見ていてください。

電源を入れるときは、電源ボタンを長く押すのね。  
機種によっては、電源が入ると振動するものもあるわ。



できましたか？まわりの皆さんと、お互いに確認してみましょう。

次に、タブレット端末をスリープの状態にしてみましょう。  
電源ボタンを軽く1度押すと、画面が消えます。ではやってみましょう。

[ スリープとは、コンピュータを待機状態にしておくことです。  
電源を完全に切った場合よりも、短時間で起動することができます。 ]

もう1度軽く押すと、使える状態に戻るのね。



タブレット端末は、通常この状態にしておきます。  
使用するときは、再度電源ボタンを軽く押します。

次回使用するのが、翌日になるような場合は、電源をオフにします。  
オフにするときは、電源が切れるまで電源ボタンを押し続けます（長押し）。  
では実際に電源の操作をやってみましょう（Windowsは異なります）。

※電源オフの実習は、研修の最後に行っても構いません

## Step 2 接続

### 準備物



コンピュータ、デジタルテレビまたは、プロジェクタ  
HDMIケーブル、接続アダプタ  
タブレット端末（説明用、受講者用）



次は、タブレット端末をデジタルテレビやプロジェクタに接続して、映します。  
まず、動画を見ましょう。



### — 動画の視聴 —



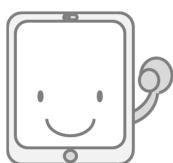
では、実際にタブレット端末を接続してみましょう。  
本校の（デジタルテレビ・プロジェクタ）の、接続部分はこちらになります。

ケーブルやアダプタは、接続できる向きや形が決まっているので、  
接続するインターフェース（接続口）の形をよく確認しましょう。

※ケーブルには、種類があります。学校のタブレット端末や提示装置で  
使用できるケーブルの種類を確認しておきましょう。

ケーブルやアダプタには向きや種類があるのね。

提示装置に映るまでには、少し時間がかかることも  
あるのね。ちょっと待ってれば映るよ。



タブレット端末の種類によって、使用するケーブルの種類  
が異なります。研修の前に必ず確認を！

例) Android : Slim port, micro HDMI ケーブル  
iPad : Lightning ケーブル  
Windows : mini HDMI ケーブル

※使用するアダプタも異なります。

※無線での接続は、使用する機器によって異なります。  
機器の説明書を参考に接続してください。